



8月31日、福山民主商工会から市議会議長あての「インボイス制度の実施延期を求める意見書を政府に送付することを求める請願書」が提出されました。

福山民商の藤本事務局長が議会事務局に請願書を手渡し、みよし剛史市議が紹介議員として、提出に同席しました。

福山市議会へ請願書を提出 インボイス制度は延期を！



発行：日本共産党
福山市議会議員団
津之郷町津之郷 970-1
084-952-2662

インボイス導入で 廃業の危機に

請願書では、コロナの影響や物価高騰で小規模事業者の経営の悪化が続く中、10月から始まる消費税インボイス制度の導入がさらに追い打ちをかけることが指摘されています。

インボイス制度が導入されると、インボイス（適格請求書）でなければ仕入れに係る控除ができなくなり、す。しかし、インボイスは消費税課税業者しか発行できないため、年間売上1000万円以下の免税事業者は取引から排除される恐れがあります。免税事業者がインボイスを発行するために課税業者になると、今まで

免除されていた消費税の納税が義務付けられ、大きな負担増となります。

市場での力関係が弱い立場にある小規模事業者やフリーランスは、現状でも正当な利益が確保できるような適正価格を元請けや消費者に求めにくい状況にあり、インボイスで税負担増や取引からの排除が迫られると、廃業の危機に繋がります。

事業者だけの問題ではなく、太陽光パネルや自動販売機を設置している家庭にもインボイスの発行に関する働きかけが行われ、電気代の値上がりなど社会全体に影響が生じる可能性があります。が、いまだに制度の周知は進んでいません。

この状態でインボイス制度が強行されれば、社会に大きな混乱を招き、地域経済のさらなる衰退につながりかねません。

今求められているのは物価高に対する支援で地域の営業と暮らしを守る施策です。

市民の願いを議会へ 市民要求懇談会を実施

日本共産党市議団は8月30日、市民要求懇談会を開きました。参加者からの声をもとに、幅広いテーマで意見を交わしました。

水田の耕作放棄地が増加していることから、イノシシなどによる農作物への影響や地域の景観悪化も招くことになるため、水田の跡地利用を真剣に考えざるべきという意見や、駅周辺の路上喫煙

市議団は一般質問や委員会、市民の声を届けるために全力をつくします。

9月議会日程

傍聴にお越しください

9月	4日	火	午前10時から	本会議
	7日	木		議会運営委員会
	11日	月		本会議（一般質問）
	12日	火		
	13日	水		常任委員会
	14日	木		
	15日	金		予算特別委員会
	19日	火		
	20日	水		議会運営委員会・本会議（午後1時）
	25日	月		企業会計決算特別委員会
26日	水			
27日	木			
10月	2日	月	一般・特別会計決算特別委員会	
	3日	火		
	4日	水		
	5日	木		

9月議会 一般質問のお知らせ

9月14日（木）

質問開始時間は決まり次第、日刊紙折りこみ、もしくは市議団 HP (<http://www.f-jcp.com/>) でお知らせします。

傍聴される方は、市役所 議会棟5階受付へお越しください。

高木たけし市議

- 1 自衛隊員の募集事務について
- 2 マイナ保険証の中止と、健康保険証の継続について
- 3 給食費の無償化について

みよし剛史市議

- 1 インボイス制度導入による影響について
- 2 旧内海小学校校舎解体について